

令和2年度事業計画

《概要》

北九州市においては、『元気発進！北九州プラン』の中で、暮らしを彩るため、「生活に根つき、誇れる文化・スポーツの振興」を目標に掲げ、芸術・文化の振興を図ることとしている。

これを受けて当財団は、市民の多様な芸術文化ニーズに対応し、優れた芸術文化に接する機会を提供すること、芸術文化を通して青少年の育成をはかること、市内外に向けて芸術文化情報の発信に努めることなど、様々な公演事業や育成事業、情報提供事業等を実施し、芸術文化の振興と芸術文化を核としたまちづくりを目指していく。

なお、当年度は北九州市における「東アジア文化都市2020北九州」の開催にともない、当財団においても連携事業や関連企画等を実施することとしている。

また、併せて北九州芸術劇場等の芸術文化施設の管理運営、並びに文化財保護法に基づいた埋蔵文化財の発掘調査を行う。

さらに、文化に関する情報提供機能を再編し、広域かつ幅広い層への情報発信を行い、地域文化の振興への寄与を高めていくこととする。

I 文化創造事業の実施

令和元年度から5年間の指定管理者となっている北九州芸術劇場、北九州市立響ホール、北九州市立大手町練習場の3つの芸術文化施設等について、管理運営を行う。

これら3施設については、

① 北九州芸術劇場と響ホールを北九州地域の舞台芸術・音楽文化の拠点施設

② 大手町練習場を両施設の補完、及び市民の芸術文化活動の支援施設

と位置づけ、舞台芸術については「創る」「育つ」「観る」「支える」、音楽文化については「創る」「育つ」「聴く」「支える」「つながる」をコンセプトとし、これらに沿った事業を推進していくとともに、市民の文化活動の支援など、地元に着した事業運営と芸術文化情報の収集・提供を行っていく。

また、北九州市からの指定管理事業として、市民の多様な芸術文化ニーズに対応した公演事業や育成事業を実施し、芸術文化の振興に寄与する。

1 舞台芸術の振興

市民に、より良質な芸術文化を提供するため、財団が管理する北九州芸術劇場を利用して積極的な事業を展開し、芸術文化の振興に寄与する。

(1) 創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を製作し、公演を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
北九州芸術劇場プロデュース ／市民参加企画 合唱物語 「わたしの青い鳥2020」	[コーラス・ワークショップ] 北九州芸術劇場小劇場ほか 5月8日(金) ～6月27日(土) 全14回 [公演] 北九州芸術劇場中劇場 6月28日(日) 1公演	市民参加型創造事業。メーテルリンクの「青い鳥」を原作にオリジナルの曲と詞を作り、市民参加の合唱と朗読で物語をすすめていく。本番を含む15回のワークショップを実施し、作品には参加者の自分史や幸福感を取り込み、さらに公演では来場者にも幸福感をインタビューし、会場一体となって幸せ探しをする。平成16年度から毎年続いて17回目の開催。今回がラストステージとなる。 【合唱】市民の皆さん 【作曲】長生淳 【作詞・ナレーション】能祖将夫 【指揮】樋本英一 【ソプラノ】伊藤晴(藤原歌劇団) 【ピアノ】白石光隆
北九州芸術劇場 +市民共同創作リーディング 「Re:北九州の記憶」	[取材・調査] 4月～ [戯曲講座] 北九州芸術劇場 5月～12月 [リーディング公演] 北九州芸術劇場小劇場 2月 3公演	平成24年度からはじまり9年目を迎える事業で、北九州地域に暮らす人の歴史(記憶)を「北九州の歴史」として振り返り、未来へ継承することを目的に実施している。令和2年度は4月から実施する高齢者へのインタビューを元に地域の若手作家が戯曲を執筆し、リーディング公演として上演する。 【構成・演出】 内藤裕敬(南河内万歳一座)
【東アジア文化都市主催事業】 東アジア文化都市 2020北九州 「詩×現代舞踊(舞踏)」	[公演] 北九州芸術劇場 中劇場(舞台上客席) 11月7日(土)～8日(日) 4作品 各1公演 北九州芸術劇場小劇場 11月7日(土)～8日(日) 1作品 2公演 [アウトリーチ] (未定)	日本・中国・韓国を代表する振付家と北九州市ゆかりの詩人、中国と韓国はそれぞれの国の詩人の作品をテーマに新作公演(全5作品)を行う。「詩」と「身体表現」をとおして、国を超えた多様な文化芸術の相互理解を図るとともに、北九州芸術劇場から北九州の文芸、舞台芸術を国内外に発信する。北九州市受託事業。 【企画製作】北九州芸術劇場

(2) 学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献する。

事業名	場所・時期等	内容等
北九州芸術劇場 あそびのじかん	北九州芸術劇場創造工房 5月～12月	創造工房内の稽古場を「あそび場」として、子どもたちの自由な表現や発想力、創造性に委ねる演劇ワークショップを中心としたプログラムを実施する。
高校生〔的〕シアター	北九州芸術劇場、 市内施設ほか 通年	北九州地域の高校生に演劇を体験(ワークショップ・観賞)してもらい、未来の演劇人や観客の創出、さらには市内高校演劇部のレベルアップを図る。
劇場塾2020 オープンレクチャー	北九州芸術劇場小劇場、 創造工房 通年	九州圏域の劇場等職員(制作・技術)や文化行政担当者、コーディネーターを目指す者及び広く一般市民を対象に、地域の人材発掘と育成・底上げを目的にオープンレクチャーを実施する。
市民・劇場文化サポーター育成 事業	北九州芸術劇場創造工房 ほか 通年	「劇場文化サポーター」を“劇場文化を応援する人たち”と位置づけ、市民がさまざまに劇場と関わりを結び、その活動がサポーター自身の生きがいや誇りに繋がること、さらに劇場や劇場文化への愛着の気持ちを育み、その輪を身近な人たちに広げていくことを目指す。 ①劇場支援活動 (情報発信、事業サポート等) ②劇場・舞台芸術全般に関する講座の実施 ③劇場事業に関する勉強会等の実施 (定期ミーティング等)
キタQアーティスト ふれあいプログラム	市内小・中学校、 特別支援学校ほか 通年	第一線で活躍するアーティストによる小中学校、及び特別支援学校や特別支援学級へのアウトリーチを実施する。
ひとまち+アーツ協働事業	北九州芸術劇場、 市内施設ほか 通年	芸術分野以外の施設や団体と協働し、アーティストや舞台芸術の持つ想像力・創造性を活かして長期的なビジョンを互いに共有しながら、地域の問題解決を目指し、人と街の新たな魅力を引き出す。
公共ホール現代ダンス活性化 事業 (Aプログラム)	北九州芸術劇場創造工房 ほか 11月	(一財)地域創造による、現代ダンス活性化事業。教員を目指す人や高校生へ向けたアウトリーチを予定。また若者を中心とした一般参加者に向けたワークショップも実施し、ダンスに対する理解を深めてもらう機会を設ける。

ダンスワークショップ企画	北九州芸術劇場創造工房 ほか 9月	令和元年度まで行ってきたダンスダイブウィークを通じて育んだダンスの輪をさらに広げるべく、親子や高齢者を対象としたワークショップを実施する。
演カツ！！	北九州芸術劇場創造工房 通年	地域舞台人の新たな表現活動への取り組みや、様々な知識・ノウハウの獲得を目指し、創造工房内稽古場での作品の上演及び企画を実施する。

(3)公演事業

市民に、より良質な舞台芸術を提供する。

事業名	場所・時期等	内容等
大人も一緒に子どもたちの劇場シリーズ2020 ー海外編Ⅰー 「チクタク」	北九州芸術劇場小劇場 4月29日（水・祝） 1公演	From アルゼンチン。 国際児童・青少年演劇フェスティバル おきなわとの連携。
大人も一緒に子どもたちの劇場シリーズ2020 ー海外編Ⅱー 「リトルトップ」	北九州芸術劇場小劇場 5月2日（土） ～3日（日・祝） 4公演	From スコットランド。 国際児童・青少年演劇フェスティバル おきなわとの連携。
「劇トツ×20分」2020	北九州芸術劇場小劇場 7月12日（日） 1公演	九州各地で活躍する演劇人が集まる場として、平成24年度から実施。地域の演劇人の人材育成やムーブメントの創出を目的とする。公募による劇団が短編作品で競う。
大人も一緒に子どもたちの劇場シリーズ2020 「二分間の冒険」	北九州芸術劇場小劇場 7月25日（土） ～26日（日） 2公演	30年にわたって子どもたちに読み継がれてきた日本屈指のファンタジー小説の舞台化。 【原作】岡田淳（偕成社刊） 【上演台本・演出】 山本卓卓（範宙遊泳）
マームとジプシー 「cocoon」	北九州芸術劇場中劇場 8月9日（日） 1公演	戦時中の沖縄を舞台に、戦争に動員された少女たちの物語を描く。 【原作】今日マチ子 【演出】藤田貴大（マームとジプシー）
歌劇「フィガロの結婚～庭師を見た」	北九州芸術劇場大ホール 10月18日（日） 1公演	井上道義×野田秀樹という二人の鬼才が放つ、新「フィガロの結婚」。誰も見たことのない新しいオペラの幕が開く。 【指揮・総監督】井上道義 【演出】野田秀樹
ケムリ研究室 no.1 「新作（タイトル未定）」	北九州芸術劇場中劇場 10月9日（金） ～11日（日）（予定） 3公演	KERAの新ユニット 第一弾公演。 【作・演出】 ケラリーノ・サンドロヴィッチ

パルコ作品「ゲルニカ」	北九州芸術劇場大ホール 10月31日(土) ～11月1日(日) 2公演	ピカソの絵画「ゲルニカ」に想を得た、 壮大な人間ドラマ。 【作】長田育恵 【演出】栗山民也
小劇場作品(串田作品)	北九州芸術劇場小劇場 10月31日(土) ～11月1日(日) 2公演	長野県松本市を活動の拠点とする串 田和美が、俳優集団TCアルプやオー ディションメンバーとともに新たな 作品世界を創り上げる。 【演出】串田和美
フランソワ・シェニョー& ニノ・レーネ 「不確かなロマンスーもう 一人のオーランドー」 日本ツアー公演	北九州芸術劇場中劇場 12月19日(土) 1公演	フランスの俊英ダンサー・振付家の フランソワ・シェニョーが、アーテ ィストのニノ・レーネとともに平成 29年に初演し、その後世界各地で 称賛を浴びた「不確かなロマンス ーもう一人のオーランドー」の日本 公演。 【演出】ニノ・レーネ 【振付・ダンス・歌唱】 フランソワ・シェニョー
日本昔ばなしのダンス	北九州芸術劇場 中劇場(舞台上客席) 1月16日(土)(予定) 2公演	彩の国さいたま芸術劇場による、「日 本昔ばなしのダンス」シリーズ。誰 もが知っている昔ばなしの世界を、 現代ダンス界で活躍するアーティスト たちがダンスで綴る、大人と子ども のためのダンス公演。
新国立劇場作品 「ピーター&ザ・スター キャッチャー」	北九州芸術劇場中劇場 1月24日(日) 1公演	永遠の少年ピーターと、魔法の島ネ バーランドの成り立ちを描く、壮大 なファンタジーの舞台化。大人も子 どもも楽しめる作品。 【演出】ノゾエ征爾
二兎社	北九州芸術劇場中劇場 2月4日(木) 1公演	社会問題から歴史ものまで独自の視 点で描く演劇ユニットの新作公演。 【作・演出】永井愛

(4) 提携・共催・協力事業

事業名	場所・時期等	内容等
【協力公演】 ミュージカル「ホイッスル・ ダウン・ザ・ウインド～汚れ なき瞳～」	北九州芸術劇場大ホール 4月10日(金) ～12日(日) 4公演	【演出】白井晃 【出演】三浦春馬、 生田絵梨花(乃木坂46)ほか
「劇トツ×20分」2019 優勝劇団 劇団言魂 「タイトル未定(新作)」	北九州芸術劇場小劇場 4月25日(土) ～26日(日) 2公演	【作・演出】山口大器
【協力公演】 コント集団カジャラ	北九州芸術劇場中劇場 6月 2公演	【作・演出】小林賢太郎

イキウメ	北九州芸術劇場中劇場 7月5日(日) 1公演	【作・演出】前川知大
ブルーエゴナク	北九州芸術劇場小劇場 10月 4公演	【作・演出】穴迫信一
康本雅子ダンス公演	北九州芸術劇場小劇場 11月14日(土) ～15日(日) 2公演	【振付・演出】康本雅子
飛ぶ劇場	北九州芸術劇場小劇場 12月 4公演	【作・演出】泊篤志
南河内万歳一座	北九州芸術劇場小劇場 2月 2公演	【作・演出】内藤裕敬
木ノ下歌舞伎	北九州芸術劇場小劇場 3月 2公演	【監修】木ノ下裕一
【協力公演】 歌舞伎	北九州芸術劇場大ホール 3月 2公演	内容未定

(5) 支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスを行い、市民の文化活動を支援するほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
演カツ!! ＜再掲＞	(2) 学芸事業 参照	
「劇トツ×20分」2020 ＜再掲＞	(3) 公演事業 参照	

(6) 地域文化振興事業（受託事業）

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
第50回 北九州市ファミリー劇場 一角笛シルエット劇場	各市民会館 北九州芸術劇場大ホール 5月18日(月) ～25日(月) 7公演	劇団角笛による子ども向けシルエット劇。幼い頃から舞台芸術に親しんでもらうため、幼児・親子が楽しめる良質な観劇の機会を提供する。
人形浄瑠璃「文楽」	戸畑市民会館大ホール 3月4日(木) 2公演	ユネスコの世界無形文化遺産に登録された日本の伝統芸能である「文楽」の公演。

2 音楽文化の振興

市民に、より良質な芸術文化を提供するため、財団が管理する響ホールを中心として積極的な事業を展開し、芸術文化の振興に寄与する。

(1) 響ホール事業

ア 創造事業

響ホールオリジナルのコンサートを制作し、公演を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
【東アジア文化都市連携事業】 響ホールフェスティバル 2020	[本公演・関連イベント] 響ホール 6月27日(土) ～28日(日) [地域訪問コンサート] (調整中)	響ホール室内合奏団と響ホールとの共同企画による2日間の公演のほか、近隣の大学や企業等と連携した関連イベントを実施する。 公演1日目は「アジアの文化交流」の要素を組み込んだプログラム、2日目は子どもも大人も楽しめる室内楽の公演を実施。
0才からの親子で楽しむ クラシックコンサート	[本公演] 響ホール 12月5日(土) [地域訪問コンサート] 市内幼稚園ほか(調整中) 10月(調整中)	クリスマスシーズンに、0歳から親子で楽しめるクラシックコンサートを企画制作する。子どもたちに生演奏の魅力を伝えるため、ピアニストの中川賢一が制作協力。

イ 公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供する。

事業名	場所・時期等	内容等
リサイタル・シリーズ ～アーティスト・イン・レジデンス～ ①椿三重奏団 [ピアノ・トリオ] 【東アジア文化都市連携事業】 ②ニューニュー [ピアノ] ③カルテット・スピリタス [サクソフォン四重奏] ④金子三勇士 [ピアノ]	[本公演] 響ホール ①5月30日(土) ②9月18日(金) ③2月6日(土) ④2月27日(土) [アナリーゼワークショップ] 響ホール(ステージ上) ①5月29日(金) ③12月(調整中) ④1月(調整中) [地域訪問コンサート] 市民センター、 市内小学校ほか(調整中) ①4月22日(水) ～23日(木) ③12月(調整中) ④1月(調整中)	国内外で活動するアーティストによる2時間のコンサートを実施する。 本公演のほか、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、アナリーゼワークショップや地域訪問コンサートを実施する。

<p>ワンコイン・コンサート ～アーティスト・イン・レジデンス～</p> <p>①酒井有彩 [ピアノ] ②廣田美穂 [ソプラノ]、 浅野菜生子 [ピアノ] ③朝永侑子 [ハープ]、 細川泉 [ヴィオラ]、 大村友樹 [フルート] ④加藤直明 [トロンボーン]、 城綾乃 [ピアノ]</p>	<p>[本公演] 響ホール ①5月14日(木) ②8月5日(水) ③11月26日(木) ④1月13日(水) [地域訪問コンサート] 市民センター、 市内小学校ほか(調整中) ①5月13日(水) ②8月4日(火) ④1月12日(火)</p>	<p>平日(昼)の響ホールを活用し、トークを交えた短時間のワンコイン・コンサートを実施。新たな顧客層を開拓し、クラシック音楽の魅力を伝えるとともに、本格的なクラシック音楽を聴くことができる響ホールのPRを行う。併せて、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指し、地域訪問コンサートを実施する。</p>
<p>H Z E T T M ピアノ独演会 2020 北九州 響の陣</p>	<p>響ホール 8月29日(土)</p>	<p>世代や性別を問わず、幅広くライトなクラシック音楽ファン層へのアプローチを目的としたピアノコンサートを実施する。</p>

ウ 育成事業

音楽の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献するとともに、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行う。

事業名	場所・時期等	内容等
<p>北九州市少年少女合唱団育成事業</p>	<p>[練習] 戸畑市民会館ほか 毎週土曜日14時から [公演] 第46回定期演奏会 戸畑市民会館大ホール 12月20日(日)</p>	<p>合唱団の活動を通じて、団員の合唱技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。</p>
<p>北九州市ジュニアオーケストラ育成事業</p>	<p>[練習] 大手町練習場 毎月3回日曜日9時から [公演] 第38回定期演奏会 北九州ソレイユホール 8月16日(日) 第24回スプリングコンサート 場所・時期(調整中)</p>	<p>オーケストラ活動を通じて、団員の演奏技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。</p>
<p>【東アジア文化都市連携事業】 北九州市ジュニアオーケストラ国際交流事業</p>	<p>中国揚州市(海外遠征) 8月20日(木) ～23日(日)</p>	<p>東アジア文化都市の開催を記念し、中国の開催都市である揚州市に北九州市ジュニアオーケストラを派遣し、青少年の文化交流を図る。</p>
<p>【東アジア文化都市連携事業】 第44回北九州少年少女合唱祭</p>	<p>戸畑市民会館大ホール 7月5日(日)</p>	<p>市内及び近郊の少年少女合唱団による合唱の祭典。令和2年度は日中韓の童謡の全体合唱を予定。</p>
<p>小・中学校合唱講習会</p>	<p>響ホール 7月28日(火) ～30日(木)</p>	<p>北九州市小・中学校音楽教育研究会、福岡県合唱連盟との共同主催にて、小・中学生及び合唱団のための合唱講習会を実施する。</p>

合唱組曲「北九州」演奏会	北九州ソレイユホール 3月14日(日)	ふるさと讃歌である合唱組曲「北九州」の演奏会。 【出演】北九州をうたう会、市内少年少女合唱団、市内中学・高校合唱部、九州交響楽団、小倉祇園太鼓ほか
第44回北九州市レディースコーラス・フェスティバル	響ホール 3月21日(日)	市内及び近郊の女声合唱グループ約50団体が出演する合唱の祭典。
アーツスタッフ養成講座 ①ホスピタリティ・カスタマーサポート研修 ②レセプションист養成講座	響ホール ①5月18日(月) ②11月21日(土) ~22日(日)	音楽文化の振興を担う人材育成を図る。 ①多様なサポートが必要なお客様への理解と対応方法を学ぶための研修を実施する。 ②フロントスタッフの役割を理解し、レセプションистとしての対応を学ぶための講座を開催する。
早期教育プロジェクト 2020 in 北九州	響ホール 12月12日(土)	東京藝術大学音楽学部の講師による公開レッスンと、藝大生によるランチタイム・コンサートを実施する。 【講師】有森博(ピアノ)
地域訪問コンサート	市民センター、市内幼稚園、小学校ほか 通年	クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、リサイタル・シリーズ、ワンコイン・コンサート等の出演者による地域訪問コンサートを実施する。
ハープ研究会	[練習] 響ホール 月2回(40分/回)	ハープに興味を持つ市民に対し、ハープ演奏を学ぶ機会の提供を目的として実施する。
チェンバロ教室	[練習] 響ホール 月2回(40分/回)	響ホールのチェンバロを市民に広く周知するとともに、チェンバロ演奏を学ぶ機会の提供を目的として実施する。

エ 支援事業

市民の活動発表の場の提供等を通じて音楽活動を支援し、地域文化の振興を図る。

事業名	場所・時期等	内容等
第44回北九州少年少女合唱祭 <再掲>	ウ 育成事業 参照	
第44回北九州市レディースコーラス・フェスティバル <再掲>	ウ 育成事業 参照	
響ホールお迎えバス	響ホール 通年	貸館時に、八幡駅発のお迎えバス(9人乗り)を運行し、響ホールへのアクセスの利便性向上を図る。 (主催者一部負担3,000円)

オ 連携事業

様々な団体等と交流・連携・協働しながら、音楽を中心とした芸術文化の振興や芸術文化の力を活かしたまちづくりに取り組む。

事業名	場所・時期等	内容等
ひびきつながるプロジェクト	響ホールほか 通年	「地域と『つながる』『つくる』『考える』」をキーワードに、これまで八幡地域で実施していた「YAHATA MUSIC PROJECT」を発展させ、区外も含めたプロジェクトを展開する。 ①「つながる」…まちの小さな演奏会の実施（区外への展開） ②「つくる」…「やはたアートフォレスト」での施設間連携（区内での連携） ③「考える」…大学生との共同企画の実施
NHK-FM「まろのSP日記」公開収録	響ホール 10月30日（金）	NHK北九州放送局と北九州市、当財団の共同主催で公開収録を実施する。本市出身のヴァイオリニスト篠崎史紀が出演。

(2) 北九州国際音楽祭事業 【東アジア文化都市連携事業】

ア 有料プログラム

事業名	場所・時期等	内容等
(東アジア文化都市関連企画) マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ	響ホール 10月3日（土）	本市出身のNHK交響楽団第1コンサートマスター篠崎史紀が率いる音楽祭オリジナルオーケストラ。東アジアの友好・平和を願い、ベートーヴェン・イヤーに因んで「第九」を演奏。「ベートーヴェン交響曲全曲制覇」を達成する。
(東アジア文化都市関連企画) 「ベートーヴェンの手紙」 佐藤俊介 [ヴァイオリン] スーアン・チャイ [ピアノ] 横坂源 [チェロ] 古部賢一 [オーボエ] 三浦一馬 [バンドネオン] 進行役：柳家三三 [唸家]	響ホール 10月17日（土）	ベートーヴェン生誕250周年企画。オリジナル編成の五重奏。数多く残るベートーヴェンの手紙と楽曲から、ベートーヴェンの生涯とその人物像に迫るコンサートを実施する。
(東アジア文化都市関連企画) サロン・コンサート (仮称) 筑前琵琶 人間国宝「奥村旭翠」	西日本工業倶楽部 10月22日（木）	数ある東アジアをルーツに持つ楽器のうち、福岡で生まれた筑前琵琶に焦点を当て、地元の歴史を題材にした演目「壇ノ浦」などの鑑賞機会を提供。日本の伝統的な「語りもの音楽」の世界が堪能できる。
【東アジア文化都市連携事業 特別企画】 ワレリー・ゲルギエフ指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 デニス・マツエフ [ピアノ]	北九州ソレイユホール 11月5日（木）	東アジア文化都市の開催を記念し、当音楽祭の広域発信、知名度向上にも繋がるメイン企画として実施する。本公演のほか、中学生を対象にリハーサル公開も行う。

木嶋真優 [ヴァイオリン] 横山幸雄 [ピアノ]	響ホール 11月8日(日)	メディア出演も多く、現在注目のヴァイオリニスト木嶋と、ショパン国際ピアノコンクールで歴代日本人最年少入賞実績があり、海外での活躍も多い横山。人気と実力を兼ね備えた2人によるデュオ・リサイタル。
(東アジア文化都市関連企画) 「マチネの終わりに」コンサート 福田進一 [クラシックギター] 朴葵姫 [クラシックギター] 平野啓一郎 [作家]	響ホール 11月14日(土)	本市出身の平野啓一郎の小説「マチネの終わりに」をテーマにしたコンサート。小説の構想段階から平野に助言し、映画化に際してギター監修を務めた世界的ギタリストの福田と、韓国仁川市出身の朴に加え、原作者の平野を迎えて開催する。

イ 教育プログラム

未来を担う子どもたちに、音楽の素晴らしさを体験してもらい、情操豊かな人間形成の一助となることを目的に実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
中学生の鑑賞教室 A (教育委員会受託事業)	響ホール 10月20日(火)	未来を担う青少年に一流の音楽に触れてもらうため、佐藤俊介ほか「ベートーヴェンの手紙」出演者による、レクチャー付きコンサートを実施する。
中学生の鑑賞教室 B (教育委員会受託事業)	北九州ソレイユホール 11月5日(木)	「中学生の鑑賞教室 A」と同様の趣旨により、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団公演に先立ち、中学生を対象としたリハーサル公開を行う。
小学生の鑑賞教室	(調整中) 10月上旬～中旬	音楽祭出演者による訪問コンサート。“生の音楽を聴く、体感する”ことを主眼に実施する。演奏者による楽器や曲目の話を交えながら、分かりやすく楽しめる内容とする。
幼稚園の訪問コンサート	(調整中) 10月上旬～中旬	「小学生の鑑賞教室」と同様のメンバーによる訪問コンサート。楽器の話を交えるなど、園児が楽しく聴けるようプログラムを工夫して進行する。

ウ 特別プログラム

広く市民が音楽に親しむ機会を提供し、公演事業では十分に行き届かない、普及、啓発、振興、教育などを担うプログラムとして展開する。

事業名	場所・時期等	内容等
ヴァイオリンが上手くなる ひみつ	響ホール 8月15日(土)	本市出身のNHK交響楽団第1コンサートマスター篠崎史紀によるヴァイオリン愛好者を対象としたレッスンを行い、その様子を一般公開する。
(仮称) PRトークショー ～ウィーンとベートーヴェン～	(調整中) 8月15日(土)	音楽祭ラインナップの周知・PRを目的として、「ウィーンとベートーヴェン」をテーマに、幅広い層に向けたトークショーを実施する。

まるっとEnjoy! 響ホールで夏休み ～ウィーンとベートーヴェン～	響ホール 8月16日(日)	3歳以上対象で入場無料。本格的なクラシック音楽鑑賞のほか、弦楽器体験なども設け、気軽に参加して楽しめるイベント。響ホールと音楽祭を身近に感じていただくことを目的に開催する。
プレ・ステージコンサート	響ホール 10月3日(土)	篠崎史紀がMCを務め、開演前にオーケストラメンバーによる金管アンサンブル、弦楽合奏などのプレ・コンサートを行う。
スタンプラリー	音楽祭有料プログラム会場 音楽祭期間中	音楽祭期間中に3つ以上の対象コンサートのスタンプを集めた方に抽選で、出演者のサイン色紙などをプレゼントする。来場者の本音楽祭への愛着心を育てるとともに、リピーターの増加を目指す。

エ 支援事業

市民企画事業実施に取り組む団体を支援することで、広く市民が音楽に親しむ機会を提供し、地域の音楽文化の振興に寄与することを目的とする。

事業名		場所・時期等	内容等
湧き上がる 音楽祭 In 北九州	コンチェルト 演奏会	響ホール 8月10日(月・祝)	若い演奏者へコンチェルト演奏の機会を提供し、その才能を広く紹介するとともに、この舞台経験を生かした活動や今後の飛躍が期待される人材の発掘と育成を目指す。
	オーケストラ 演奏会	戸畑市民会館大ホール 8月22日(土)、 29日(土)(調整中)	新生のオーケストラや、幅広く演奏の機会を求めるオーケストラに、その機会を提供する。
	室内楽演奏会	戸畑市民会館中ホール 8月16日(日)、18日 (火)、19日(水)(調整 中)	日頃から研鑽に励む優れた地元演奏家に、その実力に相応しいステージを提供して成果を披露していただき、今後の活動の弾みとなるよう支援する。
	独創企画演奏会	北九州芸術劇場小劇場 8月7日(金)、9日(日) (調整中)	従来のコンサートスタイルにとられない斬新な企画・制作・公演運営を担う者(団体)を公募する。地元音楽界のプロデュース力を育成する。
マラソン・コンサート	響ホール 9月12日(土)	音楽祭の主会場である響ホールでプロ・アマ問わず演奏することにより、音楽祭をより身近なものと感じていただくとともに、音楽祭の発展の一助となることを目的とする。	
街かどコンサート	ウェルとばた交流プラザ 9月27日(日)	公募による市民参加コンサート。プロ・アマ問わず出演者を公募し、共にステージを分かち合い、道行く人も含めて音楽の愉しさを共有し理解を深め合う“場”を提供する。	

オ 協賛事業

平成30年度から、本市におけるクラシック音楽文化等を盛り上げることを目的として、9月～12月に北九州市内の施設で実施されるクラシック音楽等のコンサートを対象に、北九州国際音楽祭協賛事業(冠事業)の公募を実施。

3 芸術文化情報の収集及び提供事業

地域の芸術文化活動や公演の情報提供を図る。

事業名	場所・時期等	内容等
文化情報誌 『CulCul・かるかる』の発行	毎月1日発行/ 奇数月号 冊子10,000部・PDF 偶数月号 PDF	文化芸術・社会教育施設にまつわる 記事と文化施設の催事案内を掲載す る。
北九州芸術劇場&響ホール 「情報誌Q」の発行	年3回発行/80,000部 (予定)	北九州芸術劇場・響ホールで行われる 事業情報をはじめ、地域文化を紹介。
芸術文化情報センターの運営	北九州芸術劇場内	チケット&アートスペース 『Q-station』及び市民ギャラリーの 運営、ホームページ等で公演の情報提 供等を行う。
北九州芸術劇場&響ホール 会員制度 「チケットクラブQ」 「KICPACメンバーズ」	—	市民により親しまれる身近な劇場・音 楽堂を目指し、令和2年4月より会員 制度をリニューアル。 【特典】公演をはじめとする劇場・響 ホール事業に関する情報の提供、チ ケットの先行予約、ポイント積立て による割引等。

II 芸術文化施設の管理

市内にある芸術文化施設のうち、多目的に使用できる大ホール、演劇専用の中劇場、多機能に使用できる小劇場等を有する北九州芸術劇場、音響効果に優れた音楽専用の響ホール、また、音楽、演劇、舞踊をはじめとする市民の芸術文化活動を支援する場である大手町練習場について、北九州市の指定管理者として管理を実施する。

施設名	主要施設	期間
北九州芸術劇場	大ホール、中劇場、小劇場、創造工房、芸術文化情報センター（チケット&アートスペース『Q-station』、市民ギャラリー）	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（指定管理）
響ホール	大ホール、リハーサル室、研修室、練習室1・2	
大手町練習場	大練習室、中練習室1・2、小練習室1~8、会議室1~3	

III 市有施設の維持管理

響ホールが入居する北九州市立国際村交流センターについて、建物や設備機器などの維持管理を響ホールの管理運営と一体で行い、市有施設の効率的な維持管理を行う。

施設名	主要施設	期間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、アジア低炭素化センター、駐車場	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（指定管理）

IV 埋蔵文化財の発掘調査研究

北九州市及び民間開発業者などからの委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存等を行い文化の振興に寄与する。

1 埋蔵文化財の発掘調査及び整理

事業名	遺跡名	区分	面積㎡	遺跡の概要
折尾土地区画整理事業（東側・鉄道跡地地区）	左近田遺跡第2地点	発掘	500	集落跡
（仮称）北九州市長野・津田土地区画整理事業	屋敷遺跡ほか	発掘	15,097	集落跡
志井学童保育クラブ新築工事	志井雀木遺跡	発掘	120	集落跡
長野城緑地園路整備工事	長野尾登・角屋敷遺跡	発掘	100	集落跡
長野川護岸工事（31-1）	長野角屋敷遺跡ほか	発掘	120	集落跡
宅地造成（中吉田五丁目）	道屋敷遺跡	発掘	875	集落跡
宅地造成（長行西一丁目）	能行遺跡第5地点	発掘	6,919	集落跡
宅地造成（朽網東三丁目）	鍛冶屋敷遺跡第4地点	発掘	2,001	集落跡
宅地造成（下石田一丁目）	下石田中尾遺跡	発掘	924	集落跡
宅地造成（重住二丁目）	重住遺跡	発掘	162	集落跡
土取り工事（津田南町）	森山西遺跡	発掘	6,572	集落跡
横代川河川整備工事	竹下石棺群	発掘	850	集落跡
折尾土地区画整理事業（東側・鉄道跡地地区）	左近田遺跡	整理	0	集落跡
折尾総合整備事業	菅原神社横穴群	整理	0	横穴墓
徳力けやき公園整備	徳力遺跡第21地点	整理	0	集落跡
小倉城大手門前施設建築事業	大手ノ勢溜り跡第2地点	整理	0	城跡
庁舎等建て替え	金田遺跡第3地点	整理	0	町屋敷
宅地造成（下貫四丁目）	貫川遺跡13	整理	0	集落跡
宅地造成（津田三丁目）	津田神社遺跡第3地点	整理	0	集落跡
門司区中二十町新築工事（C、D号地）	大里八反田遺跡第4地点	整理	0	集落跡
宅地開発（湯川新町二丁目）	中条遺跡第3地点	整理	0	集落跡
宅地造成（八幡西区永犬丸二丁目）	宮ノ谷石棺群	整理	0	集落跡

マンション建設（蜷田若園三丁目）	中条遺跡		整理	0	集落跡
合 計		発掘 12件	整理 11件	34,240	

2 埋蔵文化財調査報告書の刊行
庁舎等建て替えなど 全8冊・8事業

3 埋蔵文化財に関する調査研究
年報及び研究紀要の発刊

4 埋蔵文化財に関する普及活動
埋蔵文化財に関する市民の理解を深める。

事業名	場所・時期等	内容等
市民考古学講座	埋蔵文化財センター 5月～11月の奇数月第4木曜日、10月の第4日曜日 13時30分～15時30分 全5回	市民を対象として、北九州市内の遺跡および遺構、遺物をテーマにとりあげ、考古学や地域の歴史について学ぶ講座を行う。
こども考古学講座	埋蔵文化財センター 4月～10月の偶数月第4日曜日、12月の第1日曜日 10時～12時 全5回	小学生～中学生を対象に、北九州市内の遺跡や遺物に関連した工作や作業を通じて、考古学や地域の歴史を学ぶ体験型講座を行う。
現地説明会	場所・時期（未定）	市民を対象として、話題性が高く重要な遺跡で発見された遺構や出土遺物について、学芸員が現地で説明を行う。
遺跡発掘報告会	場所（未定） 3月7日（日）	令和2年度に実施した発掘調査のうち、話題性の高い遺跡などを紹介する。
速報展	年3回	最近の調査で出土した埋蔵文化財を展示する。
ゆめみらいワーク 2020	場所・時期（未定）	小学生～高校生等を対象に、埋蔵文化財調査室の業務紹介、発掘体験、遺物展示などを行い、埋蔵文化財事業への理解を深め、学芸員という職業への関心を高める。

5 埋蔵文化財センターの維持管理

施設名	主要施設	期間
埋蔵文化財センター	展示室、整理作業室、事務室、収蔵庫	令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

V 地域文化の情報提供

1 北九州市芸術文化情報誌『CuiCui・かるかる』の刊行事業

演劇・音楽・文芸・美術・漫画・自然史・歴史・文化財など文化芸術・社会教育施設にまつわる記事と市内文化施設での催事案内をフリーペーパー（冊子）として奇数月に年6回、定期刊行する。奇数月号の冊子は劇場や音楽ホール、市民センターなどの文化施設をはじめ、市内ホテル、JR・モノレール各駅など合計約320カ所に設置し無料配布する。

さらに情報の質・量を補うためイベントカレンダーのみをPDFとして偶数月に年6回作成する。奇数月号・偶数月号ともにPDFをホームページに掲載する。

また、ホームページなどのデジタルコンテンツも活用し、広域かつ世代を超えた情報発信を行う。

事業名	場所・時期等	内容等
文化情報誌『CuiCui・かるかる』の刊行	毎月1日発行／ 奇数月号 冊子10,000部・PDF 偶数月号 PDF	演劇・音楽・文芸・美術・漫画・自然史・歴史・文化財などにまつわる記事と市内文化施設での催事案内を、市民を含む北九州都市圏向けに情報提供。フリーペーパーだけでなく、ホームページでも情報発信する。

2 文化施設の情報提供事業(ホームページ)

『CuiCui・かるかる』に掲載の記事と文化施設の催事情報「イベントカレンダー」を配信するメディアサイト『CuiCui・かるかる』(<http://kitakyushu-culcul.jp/>)の管理を行う。

パソコン、スマートフォン、タブレット端末などさまざまなデジタルデバイスに対応しながら、多様な催事情報を提供する。各機関からの情報や、取材を積極的に行いコンテンツの充実を図り、タイムリーな情報提供を行う。さらに、SNS (Facebook) も活用し情報発信を行う。

3 書籍の販売等

北九州市からの受託を含め、北九州市に関する各種の書籍を市内書店等で販売する。

取扱い書籍は次のとおりである。

「北九州市史」(全10巻)、「北九州むかしばなし」「きたきゅう発掘！考古学ノート」「続 海峡の風」「火野葦平とゆかりの人びと」「北九州市の野鳥たち」「川が変えたまち」「門司港レトロ物語」「ひろば北九州バックナンバー」